

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 あづみの森 尾道発達相談・療育支援センターあづみ園 放課後等デイサービス			
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日		～	令和7年12月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数)	30
○従業者評価実施期間	令和7年12月15日		～	令和7年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月7日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童の発達状況に合わせてグループを検討し、個々の状態にあった療育を行っている。	・児童の発達状況、課題などを見て活動を行うグループの検討をしている。また、児童の課題に必要な活動であれば他グループと一緒に活動するなど児童の成長に必要なグループや活動設定を行っている。	・引き続き、児童の発達状況、課題などを総合的に判断し、児童がより成長出来るようにしていく。
2	・保護者学習会を開催している。	・保護者のみが参加する学習会と親子で参加してもらう学習会を開催し、家庭での困り感に対する学習を行い、実践、振り返りを通して家庭でどう取り組んでいったらいいのか学習できるようにしている。	・引き続き、学習会の開催を行っていく。また、参加しやすいように開催日を増やすなど検討を行っていく。
3	・保護者や児童のニーズに応じて関係機関との連携を行っている。	・保護者や児童のニーズに応じて学校へ訪問し見学、連携を行っている。また、相談支援専門員や保育所等訪問支援員とも密に連絡を取り、必要に応じて連携を行っている。	・課題や困り感が大きくなる前に連携を行うことで、軽減していけるのではないかなと思う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者への周知が難しい。	・周知の必要な事柄に関して、手紙の配布やコドモンでの配信を行っているが、見られていない方がいる。また、契約時に直接説明したことも時間が経って忘れていくことがある。	・周知の仕方の検討を行う。 ・大切なことは年に何回か周知を行うようにする。
2	・事業所内の部屋に限りがある。	・放課後等デイサービス事業として使用できる部屋に限りがある。児童発達支援事業の部屋も使用出来るが、土曜日や長期休暇中は、児童発達支援事業の利用者もいるため時間によって使用出来ない。	・工夫して使用できる部屋を最大限活用していく。 ・児童発達支援事業と話をし使用出来る時間を確保する。
3	・事業所の利用対象児童の学年が決まっている。	・特別支援学校の児童：1～3年生 ・地域の小学校（知的クラス）：1～3年生 ・地域の小学校（自・情、普通級）：1～4年生 となっている。対象児童の学年を変更したいが、変更すると新たに入学する児童の枠がなくなってしまう、1年生のフォローが難しくなる。	・長期的に見ると1年生になる児童や新たな利用希望がある児童の受け皿が一定人数確保することが出来ているが、療育の継続を希望する保護者もいるため、他に出来ることがないか検討を行っていく必要がある。

	公表	保護者等からの事業所評価の集計結果
--	----	-------------------

事業所名	社会福祉法人 あづみの森 尾道発達相談・療育支援センターあづみ園 放課後等デイサービス
------	--

公表日 2026年1月30日

利用児童数 4 0 名 回収数 3 0 名 （ 7 5 %）

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	86.7%	0%	0%	13.3%	・限られたスペースではあるかもしれないが、最大限に使われていると思う。 ・他の利用者さんと面識がほぼないのでわからない。どんな特性でどんな体格なのかによると思う。	・児童の活動スペースを工夫して、引き続き最大限確保出来るようにしていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	76.7%	7%	3%	13.3%	・適切な配置数が分からない。 ・始めの見学以来、参観などないため分からない。	・国の定める人員基準以上の人員配置を行っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	86.7%	6.7%	0%	6.6%	・身体を動かす場所、活動をする場所、心を落ち着かせる場所など、子どもにもとても分かりやすく分かれていて、切り替えがしやすいと思います。 ・仕切りがあったりしているので分かりやすいと思う。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	93.3%	0%	0%	6.7%	・とても綺麗に整頓されていると思います。 ・入った時にキレイだと思った。	
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	93.3%	6.7%	0%	0%	・こんなことがよく出来るようになっていいる、ここは苦手なところもあるけど頑張っている等、お話をして下さいます。 ・個々に合わせた支援を考えて頂き、達成出来るように取り組んでくれていると思います。 ・子どもからコミュニケーションを取っていく場面を何度も見ているので、信頼関係を築くための関りを持って下さっているんだなと感じます。 ・親の話を聞いてくれて、それを踏まえて全員が学べるように考えて支援してもらっていると思う。	・引き続き、適切な支援が提供出来るように取り組んで行きます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	93.3%	6.7%	0%	0%		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・いつも親の意見だけでなく、先生の目線からの支援を伝えてもらい個別支援計画を作成していただけるので、とても助かっています。 ・よく聞いて下さっていて、何が得意で何が苦手かを理解して下さいっていると思う。	・引き続き、保護者の方としっかり話し合いながら計画を作成していきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	96.7%	3.3%	0%	0%	・基本的な身辺自立や、身体の力の使い方、順番を守るなど、基本を丁寧に身につけていくプログラムで経験数を増やして下さるので助かります。	・引き続き、適切な支援が提供出来るように取り組んで行きます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	90%	0%	0%	10%	・毎回、色々な工夫をしてくださるおかげで、子どもも飽きることなく、あづみに行くことをとても楽しみにしています。 ・毎月子どもが楽しみながら活動できるようにして頂いていると思います。 ・長期休暇中には外出学習や季節に応じた行事に合わせて活動を考えて頂き、子どもにも良い経験になっていると思います。人混みなど刺激が多過ぎて祭りを楽しめない、違う方に意識が向いてしまうので慣れている所、という環境は大事だと思います。 ・活動計画も、その時々イベント込みで考えてあると思う。	・引き続き、児童の課題、状態に応じたプログラムを設定していきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	23.3%	10.1%	23.3%	43.3%	・特に必要性を感じていません。	

保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	96.7%	3.3%	0%	0%		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	83.3%	10%	0%	6.7%		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	100%	0%	0%	0%	・いつも参加できずで申し訳ないです。 ・勉強会は良い機会ですし、支援者さんに相談、質問してもすぐに答えてくださる環境はありがたいです。 ・参加できる時には参加していた。	・来年度も開催を予定しておりますので、ぜひご参加いただければと思います。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	90%	6.7%	3.3%	0%	・いつもお迎えの際にお話していただきます。 ・体調があまり良くなかった時にも状況をしっかり伝えていただけるので、帰宅後の子どもへの見守りに助かっています。 ・連絡帳などを通して、共有されていると思う。	・引き続き、共通理解が出来るように努めてまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	90%	3.3%	0%	6.7%	・悩みなどを相談した際に、アドバイスを下さりとても助かっています。	・
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	93.3%	3.35%	0%	3.35%	・よく聞いてくださっていると思う。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	83.3%	0%	3.4%	13.3%	・きょうだい児イベントも、子どもは大変喜んでいて、事業所がどんな所か気になっていた様子でした。 ・先日のイベントは、妹も楽しそうに参加出来ていた。	・来年度も開催を予定しておりますので、ぜひご参加いただければと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	86.7%	6.65%	0%	6.65%	・急な変更にも柔軟に対応して頂き、感謝しています。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	93.3%	0%	0%	6.7%	・個別に相談などさせてもらっている。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	96.7%	0%	0%	3.3%		
非 常 時 等 の 対 応	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	93.3%	0%	0%	6.7%		
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	83.3%	0%	0%	16.7%		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	73.3%	3.4%	0%	23.3%		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	90%	0%	0%	10%		
満 足 度	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	86.7%	3.3%	0%	10%	・発生したことがないのでわかりません。	
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	96.7%	0%	3.3%	0%		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	86.7%	13.3%	0%	0%	・毎回楽しみに通っています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	93.3%	6.7%	0%	0%	・母子分離不安のある娘が少しずつですが通えるようにはなってきています。私が居なくても不安になる事なく通えると嬉しいです。 ・いつも、利用する際には暖かく子どもを迎えて下さってありがとうございます。少しずつですが、本人の成長をたくさんの方の目で見守っていくために、今後ともご協力よろしくお願いします。 ・このアンケートがストレスです。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		社会福祉法人 あづみの森 尾道発達相談・療育支援センターあづみ園 放課後等デイサービス			公表日		2026年 1 月 30 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	・活動内容によっては狭い時もあるが、2階や児童発達支援事業の部屋を使用するなど工夫している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	・法廷基準は満たしているが、さらにもう一名いると安定する。 ・法廷基準を満たしているが、ヘルプが必要な時には兼務の職員が対応している。	・基準は満たしているが、体調不良等で職員の休みが重なった時などがあるため職員増員の検討が必要である。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	・バリアフリーではない場所（玄関）はあるが、児童発達支援事業側の入口がスロープになっているため、対応可能である。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	40%	60%		・法人内で検討が必要だと思われる。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・フォーラムや法人内の研修がある。 ・フォーラムや法人内の研修により、研修を受ける機会は確保されている。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%		・	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	80%	20%			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	・月ごとに内容（目標）を変えたり、長期休暇には外出活動を取り入れたりしている。 ・児童の状態を見て次の月の活動を決定しており、その時に必要は活動を組んでいる。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	・次の日の朝礼で行っており、必要に応じて変更を加えている。 ・次の日の朝礼で振り返りを行い、課題があった時には話合って修正を入れている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	・6か月に1回実施し、事業所だけでなく家庭や学校の様子などを聞いたうえで、総合的に見て見直しが必要か保護者と相談している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%	0%		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	・活動や自由時間の中で自分で決める、選ぶなどの機会を作っている。 ・選択肢をイラストや文字などで示すなど、自分で理解して選択が行えるようにしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		・現在は管理者が参加しているため、他職員も同行して学んでいくべきだと思う。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	・ほとんどの学校とは出来ているが、送迎時に先生がいない場合には出来ないことがある。 ・必要に応じて電話連絡をしながら調整している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	該当なし	該当なし		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズの助言や研修を受ける機会を設けているか。	80%	20%		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	40%	60%		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%	0%		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	・気になる点があった時には職員間で共有し、保護者にも伝えている。	
保護者への	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	・保護者のみ参加してもらう学習会と親子参加型の学習会を開催し、親子で取り組んでもらい、振り返りを行っている。	・現在は希望者のみの参加で、必要と思われる家庭に参加してもらえていないため、参加しやすい機会を作っていく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	・モニタリング時や送迎時に説明している。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	・お楽しみ会やおもちつき、ワークショップなどきょうだい児や保護者が参加できるイベントを開催している。	・父会を計画したが、参加者がいないため中止となった。参加しやすい会にし、保護者の交流ができればと思う。

説明等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	・コドモンを活用し、配信している。 ・毎月の活動の様子やイベントや児童のみの行事などをコドモンを利用して配信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	・持ち出しが必要な時には、管理者に報告をしている。 ・鍵付きの棚で保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	20%	80%		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	・契約時にどんなマニュアルを策定しているのが保護者に説明をおこなっている。	・周知が不十分なこともあるため、しっかりと伝えていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	・契約時に保護者に確認を行い、該当児童がいる場合には、必要事項を聞き取り職員に共有している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	・契約時に保護者に確認を行い、医師の診断書を提出してもらっている。 ・アレルギーの児童は、お盆やお皿の色を変えるなど間違えないようにしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	・ヒヤリハットがあった時には、職員間で共有し再発防止に向けて話し合いを行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%		